

サ責の業務と記録の書き方

介護過程を理解すれば「できるサ責」になれる 東京地区

【内容】

コンプライアンスの視点からみた業務とは
 サービス利用の申し込みに関する調整
 介護過程を展開できることとは・ICFとの関連
 訪問介護計画の作成
 サービス担当者会議の重要性
 居宅支援事業所との連携
 訪問介護計画と援助の手順とは
 訪問介護員の業務管理
 訪問介護員に対する研修、技術指導
 訪問介護計画と介護過程の演習
 その他サービス内容の管理に必要なこと

◆受講要件◆

介護福祉士資格を所有し、かつ訪問介護事業所においてサービス提供責任者を担っている方及び今後サービス提供責任者になろうとする方

<お問い合わせ先>

NPO法人医療福祉サービス事業者サポート機構

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目17番30号河越ビル
403

TEL:052-685-3806 FAX:052-209-9258 担当森

平成31年7月7日(日)

- 10時～17時
- 会場 アジア学生文化協会
- 住所 東京都文京区本駒込2丁目12番地13号 都営三田線千石駅徒歩3分
- 受講料10,000円 税込み

介護過程を現場に活かす

介護過程とは平成29年の改定の「求められる介護福祉士像」で「専門職として介護過程が自律的に展開できる」という項目が追加されました。実務者研修においても介護過程の理解が重要視されており、カリキュラムにおいても多くの時間を介護過程の理解にあてています。現場で介護過程を理解しておかないと今後の新人指導にも支障をきたす場合があります。ぜひご参加ください。

サ責業務に悩んでいる方ぜひご参加ください

↑ **申込先FAX052-209-9258** ↑

「サ責の業務と記録の書き方」(東京)セミナー申込書			
お名前			
参加証・教材送付先	<input type="checkbox"/> 施設 →施設名	<input type="checkbox"/> 自宅	
住所	〒 -		
TEL	() -	資格	
生年月日 修了書発行に必要です。	S・H	年 月 日	

□Faxは今後いらない←この場合でも大変申し訳ありませんが貴施設のFAX番号をお知らせください。

「 - - 」